

社会と国のために尽力した庶民と税務職員の足跡

それからの 特攻の母

四六判・340頁・定価2,096円(本体1,905円+税)・平成25年8月刊

前金沢国税局長／日本大学経済学部教授 **伏見 俊行** 著

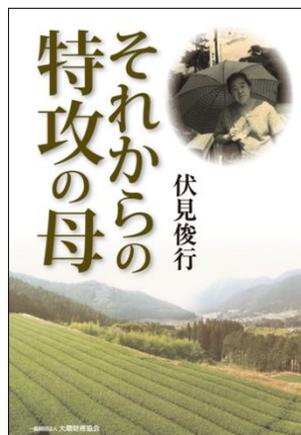
「特攻の母」は戦後「納税おばさん」として、
社会や国の復興、発展のために貢献した

戦後、彼女は平和を祈り、社会や国の復興のため働き続けた。その仕事の一つが税であった。税は国の礎であり、あの子たちが願った国の復興、発展のために基本となるもの。やがて、世間は彼女のことを「納税おばさん」と呼ぶようになる。

尾崎 護 氏（元大蔵次官・元国税庁長官）

ある意味で、この作品は日本の近代租税史であるとも言えようであるが、第二次世界大戦中に鹿児島県の知覧から出陣したいいわゆる神風特攻隊員と彼らに母のように慕われた食堂の女主人との交流、特攻隊員たちが軍隊に招集される前の学生生活、暗い戦時下でひそかに咲いた花のような青春のエピソードなどを巧みに織り交ぜて、人間味のある、人の縁^{えにし}を重視する仕立てになっていて、全体として物語性が強い。

—「推薦のことば」より—



一般財団法人 **大蔵財務協会**

〒130-8585 東京都墨田区東駒形 1-14-1(財協ビル)
TEL03-3829-4141 FAX03-3829-4001

- ◆「皆さん忘れないでください。今の平和、今の繁栄、今の幸せが、昔むかしの人たちの悲しみ、苦しみ、働きがあって作られ、受け継がれてきたことを。そして、こうした人々に心からの御礼と感謝を申し上げたいと思います」(本文終章より)
- ◆「これまでの日本人は自分のことより、家族のこと、友達のこと、社会のこと、国のことを思ってきました。だからこそ日本は世界の中で尊敬され、欧米諸国と肩を並べるまでに発展し、復興を成し遂げたのだと思います」(本文終章より)

<p>序章</p> <p>第1章 戦時下の出会い、再会、そして別れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 昭和15年、東京、大学生との出会い～戦時下の税制、税務行政 2 昭和16年、知覧、トメさんと若き税務職員との出会い 3 税務講習所二期生として東京へ 4 昭和18年4月、千葉税務署への転勤 5 昭和18年10月、3人の再会と永遠の別れへ <p>第2章 戦争の悲しみ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 細川さんからの手紙 2 特攻兵士との別れ 3 鳥濱トメさんと特攻隊員の関わり <p>第3章 戦後の混乱</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 終戦後の特攻の母と周囲の人々 2 小学校の代用教員として 3 戦後の税務行政の混乱 4 申告納税制度の導入と税務行政 5 鹿児島での税務調査とその顛末 6 民主主義と税務職員 7 密造酒の横行と取締り 8 シベリアからの帰還 9 木更津税務署からの再出発 <p>第4章 戦後の復興から発展へ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国税庁の創設 2 全職員に配付された「税務研究手帳」 3 積極的な広報活動、広聴活動の実施 4 トメさんと青色申告会活動 5 若手実業家、田川正 6 日本橋税務署での個人事業者調査 7 査察事案への展開 8 運命の再会、そして再起 	<p>も</p> <p>く</p> <p>じ</p>	<p>9 納税貯蓄組合活動</p> <p>終章 「納税おばさん」と呼ばれて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 出会い再び 2 熊本国税局長表彰 3 一日税務署長(社会のために生きて) <p>あとがき</p> <p>参考編(参考資料)</p> <p><参考資料1> 戦前、戦後の税制、税務行政の歩み(変遷)～近代日本における税務行政発展の歴史～</p> <p><参考資料2> 戦前、戦後の税收構造の変遷</p> <p><参考資料3> 青色申告制度、納税貯蓄組合制度及び税理士制度の導入等に関するシャープ勧告(抜粋・1949年)</p> <p><参考資料4> 税に関わる訓示、運営方針等</p> <p>「官吏服務規律(要旨)」(1886年(明治20年)7月勅令)</p> <p>「税務官吏服務心得」(全16条・要約)(1895年(明治29年)11月主税局通牒)</p> <p>「税務官吏八則」(日賀田主税局長)(1895年(明治29年))</p> <p>「税務講習所・五訓」(1942年(昭和17年))</p> <p>「高橋衛国税庁長官訓示」(要点)(1950年(昭和25年)11月)</p> <p>「昭和28年度の税務運営方針」(総説・要点)(1953年(昭和28年)4月公開通達)</p> <p><参考資料5> 薩摩のいろは歌(抜粋)</p> <p><参考資料6> 納税の歌</p> <p>納税奉公歌(昭和11年制作)</p> <p>納税奉公歌謡曲(昭和11年制作)</p> <p>納税の歌(昭和23年制作)</p> <p><参考資料7> 日本国憲法(抜粋:前文、9条、30条、84条)</p>
---	----------------------------	--

申込書にご記入いただく個人情報につきましては、お申込書籍の発送のほか、弊会刊行物等や催事のご案内に使用させていただきます場合がございます。弊会個人情報保護方針につきましては、ホームページにてご確認ください。

<p>申 込 書</p>	<h1>それからの特攻の母</h1>		冊
	<p>ご住所(〒) TEL() /FAX() -</p>		
	<p>☞FAX 会員(新刊案内等)募集中 ご希望の方は<input checked="" type="checkbox"/>印 <input type="checkbox"/></p>		
	ご名称	ご担当者名	

お申し込みは TEL (03-3829-4141)、FAX (03-3829-4001) または弊会ホームページ (<https://www.zaikyo.or.jp>) からできます

※このチラシでお申込みいただくと送料サービスいたします。 ➡申込FAX 03-3829-4141